

泉の森ふれあいキャンプ場は、敷地の奥にターザンロープがあるのでのみなので、遊具を増やしてはどうか。
古谷田市長になってから、お会いする機会が増えた。一般的に、市長は挨拶して退席するイメージがあったが、時間の許す限り市民に声を掛けて交流する姿を拝見するのは市民としてとても頼もしく思う。忙しいと思うが、ぜひこの姿勢を続けて欲しい。
「自殺予防週間キャンペーン」や啓発はとても大切である。国が啓発期間（自殺対策基本法による自殺予防週間（9月10日から9月16日まで）を規定）を指定しているのは理解しているが、自殺を未然に防ぐためには、9月1日問題の直前、8月末にも啓発や声掛けをするとよいのではないか。
大和市に転入して間もないが、子育て支援などの情報は市公式LINEを通じて得ている。市HPは情報が多すぎてよくわからないが、市公式LINEは便利に使わせてもらっている。
普段から地域包括支援センターなど、市には福祉関係でお世話になっている。自殺予防の啓発のような取組は結果が目に見えにくいと思うが、継続的に続けることはとても大切なので地道に続けてもらいたい。
大和市深見台2丁目5内にある児童遊園近辺に不法投棄が多く、菊園児童遊園と同様に、防犯カメラを設置してもらいたい。
学校体育館について、定期利用ではなく、SPOT利用する際の手続きが煩雑なので簡素化してほしい。
今回の「やまとジュニアTRYアスロン」は選手の保護者がスイムの様子を見ることが出来なかったので、次回以降は温水プールの2階観覧席などから見られるようにして欲しい。
夏休みアクアスポーツ教室（SUP体験）に続き、「やまとジュニアTRYアスロン」に参加させてもらった。日常では体験できないことばかりで、非常によい体験になっている。今後も、子どもの記憶に残るようなイベントが開催されることを期待している。
「やまとジュニアTRYアスロン」でのバイクの折り返し地点について、減速するタイミングで追い抜くので、接触したり転倒しそうになったり、事故につながりかねないと感じた。また、ランのゴール前の大きくカーブする箇所について、インターロッキング部分は滑りやすいので、コースを検討してはどうか。
「やまとジュニアTRYアスロン」は、ベビーサークル、保育園、幼稚園以来、久しぶりに顔を合わせる場となった。 全市的に参加者を集う子ども向けイベントは、子どもも保護者も大変うれしい。
「やまとジュニアTRYアスロン」はとても楽しかった。結果が出せなかったのですが、来年また参加したいが、中学生は対象ではないので、来年は中学生も対象にして欲しい。

今回の「やまとジュニアTRYアスロン」の告知では、キッチンカーが来ることが記載されていなかった。次回以降は、キッチンカーが来ること、どんなお店が出るのかも含めて告知してもらいたい。

能登半島地震やその後の豪雨災害のような状況では、「まもフェス ～守ろういのち・守ろうくらし～秋の全国交通安全運動」のようなイベントも出来ない。市役所の中だけでなく、地域に出ることは良い事なので、何事もない平和であることの有難さを念頭に置きながら、公務にあたって欲しい。

大和警察署のキャンペーンは、今日のように有名人の一日署長をよくやっている。市も一日市長をやってみてはどうか。

保育士の不足が続いている。近隣自治体のなかには、保育士が定着して働けるよう補助金を出しているところもあるので、大和市も検討して欲しい。

現場の保育士と市長が懇談する場を設けて欲しい。

「市勢ガイド」は市内の地図や市のことが分かりやすくまとめられており、とても勉強になる。多言語版または英語版を作ってはどうか。

市公式LINEを便利に使っている。外国人の知り合いに教えているが、知らない人が多いので、もっと広報するとよいと思う。